

# 南阿蘇村 復興むらづくり だより



復興推進課

TEL(67) 1113

## ■熊本地震震災ミュージアム震災遺構 (旧東海大学阿蘇キャンパス)の一般 公開が始まりました(熊本県事業)

### 熊本地震震災ミュージアムとは

熊本地震という未曾有の大災害を経験した熊本県として、熊本地震の震災遺構を保存・活用することにより、地震被害の実情を後世に確実に伝え、防災対応力の強化を図ることを目的とした取り組みが熊本地震震災ミュージアムです。

### 震災遺構旧東海大学阿蘇キャンパスについて

旧東海大学阿蘇キャンパスは「自然の驚異を感じ、熊本地震を伝承する」ことを目的に震災ミュージアムの中核拠点に位置付けられています。

同キャンパスは地表面地震断層とその直上にある大規模な建物の被害を一体的に見ることができ国内でも他に例を見ない大変貴重なものです。



### 震災遺構が伝える教訓

旧東海大学阿蘇校舎1号館は、地震に対する備えの重要さを改めて認識できる重要な震災遺構となっています。

1号館は上空から見るとY字型をしており、中央部と三叉の翼状部分で構成されている建物です。熊本地震発生の3年前に、三叉の翼状部分に耐震補強の筋交いが設置されましたが、その筋交いがある部分とない部分(中央部)とでの被害の大きな違いをご覧ください。また、1号館の直下を断層が通っていますが、その被害の状況も併せてご覧いただけます。



上: 耐震補強の有無について  
(地震直後の写真)  
左: 断層が直下を通過して破壊された柱



### 地震被害の大きさを実感

来場者の案内をされるのは、地震を体験された黒川地区をはじめとする住民の方々です。新型コロナウイルス感染症が流行している時期でもあり、検温やマスク着用の徹底などをおこなっています。

オープン当初の土曜・日曜は約200人、平日でも100人ほどのお客さんが来られているとのこと。早くも人気のスポットになっています。

八代市から来場された人は「このように地震の被害がきれいに残されている建物は初めて見た。日中の学生がいる時間にもし地震が起きていたらと思うとゾッとする」と話され、親子で来られていた人は「地震の被害の大きさを感じることもできる素晴らしい施設。今日は子どもと一緒に来ているが、もっと多くの子どもたちにもこの施設を訪れてもらい、地震のことを学んでほしい」と話されました。



### 公開について

○公開時間: 午前9時~午後5時(11月中旬から2月末までの間は午後4時閉館)

○休館日: 毎週火曜日、年末年始

○その他: 入場は無料、団体のお客様は要事前予約、マスクを必ず着用

詳しくは熊本地震震災ミュージアムホームページをご覧ください。

次号、南阿蘇村の震災遺構の取組みを掲載します。

### お問い合わせ先

熊本県庁 知事公室付

TEL 096 (3333) 2011